



2015年3月期 第2四半期 決算説明会

2014年10月31日
株式会社デンソー

DENSO

© DENSO CORPORATION 2014. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

1. 車両の増加により増収
将来の成長に向けた投資や、
海外の工場立ち上げ費用の増加により、前年比減益

2. 上期の業績や、アジア市場の動向を踏まえ、
通期営業利益の予想は、据え置き

	〔内は売上高比〕			【単位: 億円】	
	1Q時予想	14/9期実績	13/9期実績	増減額	増減率
売上高	20,220	20,710	19,879	+831	+4.2%
営業利益	(8.1%) 1,640	(7.8%) 1,613	(9.7%) 1,922	△309	△16.1%
経常利益	(8.8%) 1,770	(8.8%) 1,824	(10.8%) 2,146	△322	△15.0%
税引前利益	(8.8%) 1,770	(8.5%) 1,752	(10.8%) 2,146	△394	△18.4%
当期純利益	(5.7%) 1,160	(5.9%) 1,224	(7.5%) 1,501	△277	△18.5%
為替レート	100円/ドル 135円/ユーロ	103円/ドル 139円/ユーロ	99円/ドル 130円/ユーロ	4円 円安 9円 円安	
国内車両生産	458万台	459万台	453万台	+6万台	+1.3%
海外日系車生産 (内、北米)	963万台 (302万台)	913万台 (299万台)	869万台 (266万台)	+44万台 (+33万台)	+5.1% (+12.4%)

DENSO

©2015 DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

＜連結決算概要＞

・売上高は2兆710億円。前年比 + 831億円、4.2%の増収となりました。

・営業利益は、1,613億円と、前年比▲309億円、16.1%の減益。

営業利益率は、7.8%となりました。

コストダウンや生産性向上による合理化努力に加え、

売上増加による操業度差益等があったものの、

将来に向けた研究開発費や能力増強投資の増加により、

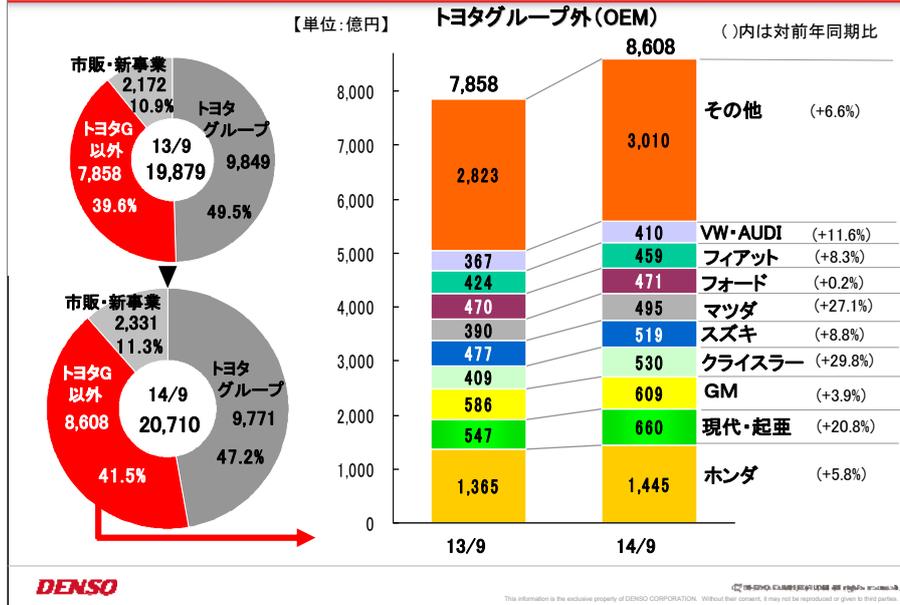
減益となりました。

・営業外収支 210億円を加え、経常利益は、1,824億円。

前年比 ▲322億円、15.0%の減益。

経常利益率は、8.8%となりました。

・当期純利益は、1,224億円と、前年比▲277億円、18.5%の減益。



<得意先売上>

トヨタグループ向け

国内車両生産減少により売上は減少し、シェアとしても低下しました。

トヨタグループ以外日系カーメーカー向け

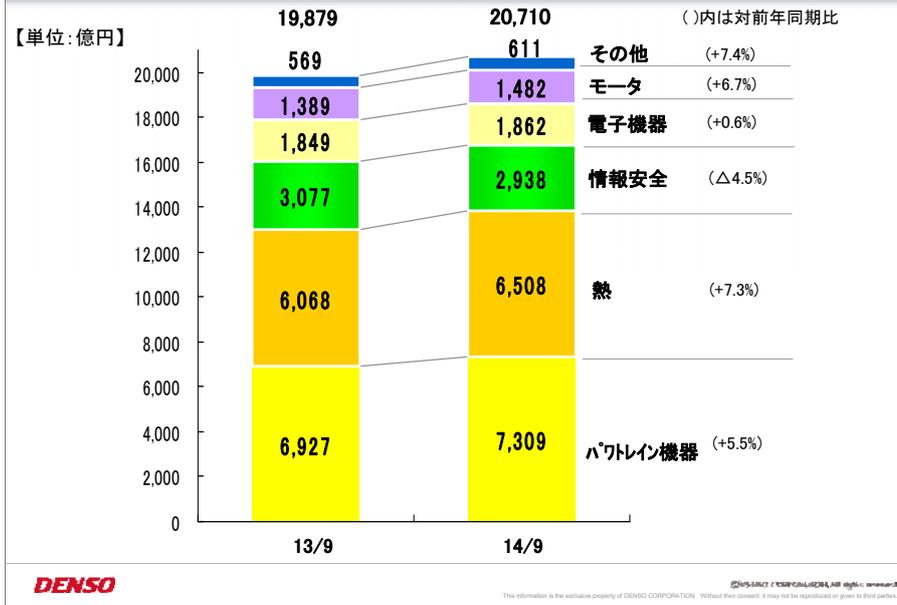
- ・ホンダは、主に北米や中国での車両生産が増加により、
- ・スズキは、日本での車両生産の増加に加え、
リチウム電池パック拡販により、
- ・マツダは、SKYACTIV用直噴製品などの拡販により、
それぞれ売上は増加しました。

海外カーメーカー向け

- ・現代・起亜は、北米での車両生産の増加に加え、熱製品の拡販により、
- ・クライスラーは、北米での車両生産の増加により、
それぞれ売上が増加しました。

2015年3月期 第2四半期 連結売上高(製品別)

04 / 23



<製品別売上>

パワトレイン機器

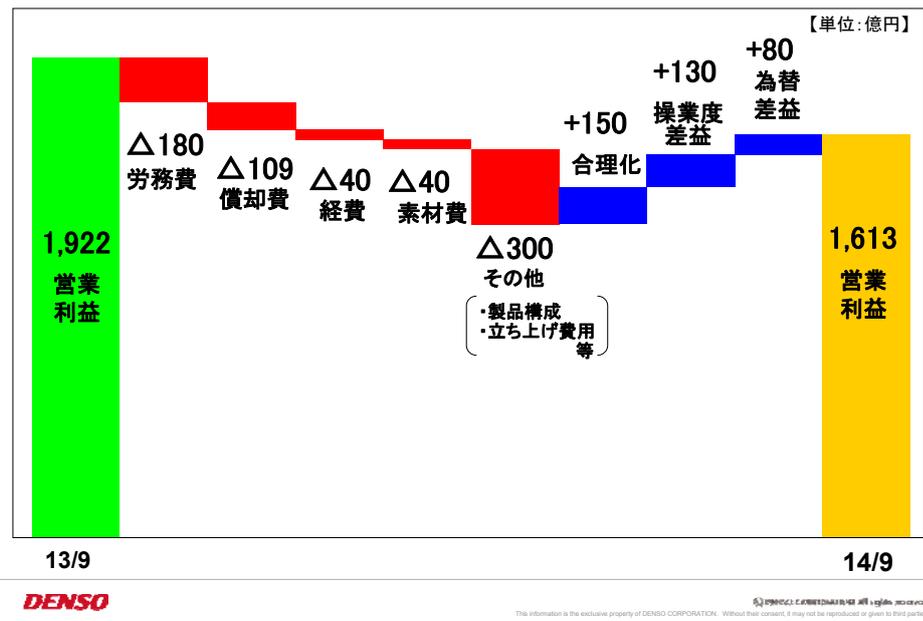
ガソリン直噴製品の拡販により、売上が増加しました。

熱機器

北米、欧州、豪亜地域での車両生産増加や、
カーエアコンの拡販により、売上が増加しました。

情報安全

ナビの売上が減少しましたが、
今後はIVI製品の拡販等で、
巻き返していきたいと考えています。



< 営業利益の増減要因 >

主な点は以下の通りです。

マイナス要因

- ① 労務費増 ▲180億円は、新興国での賃金増加や、研究開発の強化によるものです。
- ② 償却費増 ▲109億円は、能力増強投資によるものです。
- ③ その他 ▲300億円は、国内売上の減少と、開発新製品や海外工場の立ち上げコスト増加がそれぞれ3分の1ずつ、残りは、小型車シフトによる製品構成の悪化と品質対応等によるものです。

プラス要因

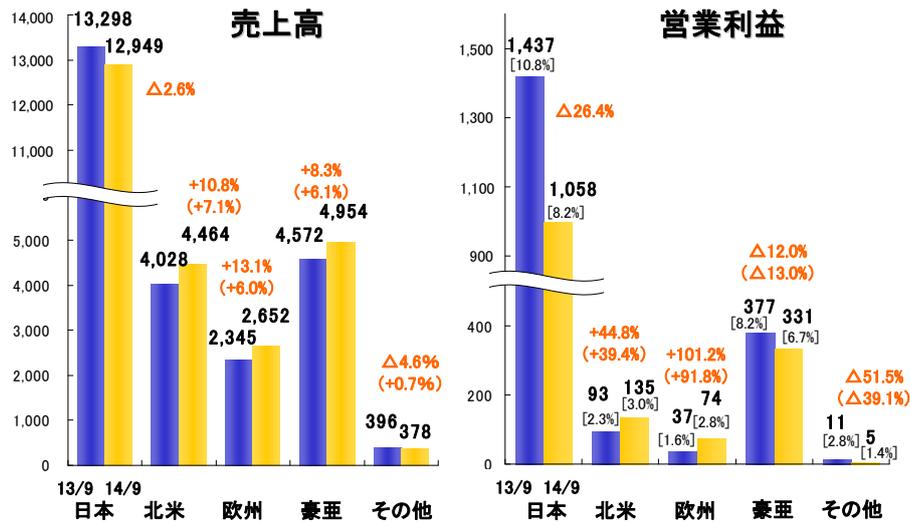
- ① 合理化努力 +150億円は、コストダウンや生産性向上によるものです。
- ② 操業度差益 +130億円は、生産の増加によるものです。
- ③ 為替差益 +80億円は、主にドルで4円、ユーロで9円の円安によるものです。

以上により、営業利益は1,613億円となりました。

【単位:億円】

※増減は円貨ベースで表示
()は為替の影響を除いた現地通貨ベース

[]は売上高比



DENSO

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<地域別の売上・利益利益>

日本

- ・売上は、小型車シフトや海外向け売上の減少により、前年比 ▲2.6% の減収となりました。
- ・利益については、売上減少による操業度差損や、労務費等の増加により、前年比 ▲26.4% の減益となりました。

日本以外(現地通貨ベース)

- ・北米、欧州地域では、車両生産台数の増加により増収・増益となりました。
- ・豪亜、その他の地域では、将来の成長のための、工場・テクニカルセンター立ち上げ費用や労務費が増加したことにより、減益となりました。

2015年3月期 通期予想

07 / 23

()内は売上高比

【単位：億円】

	1Q時予想	15/3期最新	14/3期実績	増減額	増減率
売上高	41,400	42,300	40,959	+1,341	+3.3%
営業利益	(8.5%) 3,500	(8.3%) 3,500	(9.2%) 3,777	△277	△7.3%
経常利益	(9.1%) 3,780	(9.1%) 3,850	(10.2%) 4,196	△346	△8.2%
税引前利益	(9.1%) 3,780	(8.9%) 3,778	(10.2%) 4,186	△408	△9.8%
当期純利益	(6.0%) 2,480	(5.9%) 2,480	(7.0%) 2,874	△394	△13.7%
為替レート	100円/ドル 135円/ユーロ	104円/ドル 137円/ユーロ	100円/ドル 134円/ユーロ	4円 円安 3円 円安	
国内車両生産	918万台	930万台	949万台	△19万台	△2.0%
海外日系車生産 (内、北米)	1,998万台 (622万台)	1,883万台 (612台)	1,770万台 (543万台)	+113万台 (+69万台)	+6.4% (+12.7%)

DENSO

©DENSO CORPORATION 2014. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<通期連結予想>

売上

上期の業績及び、市場動向を踏まえ、
通期予想売上を、4兆2,300億円(前年比+1,341億円)に修正いたします。

営業利益

アジア市場が不透明な点もあり、当初の予想通り、
3,500億円(前年比▲277億円)を見込んでおります。

経常利益

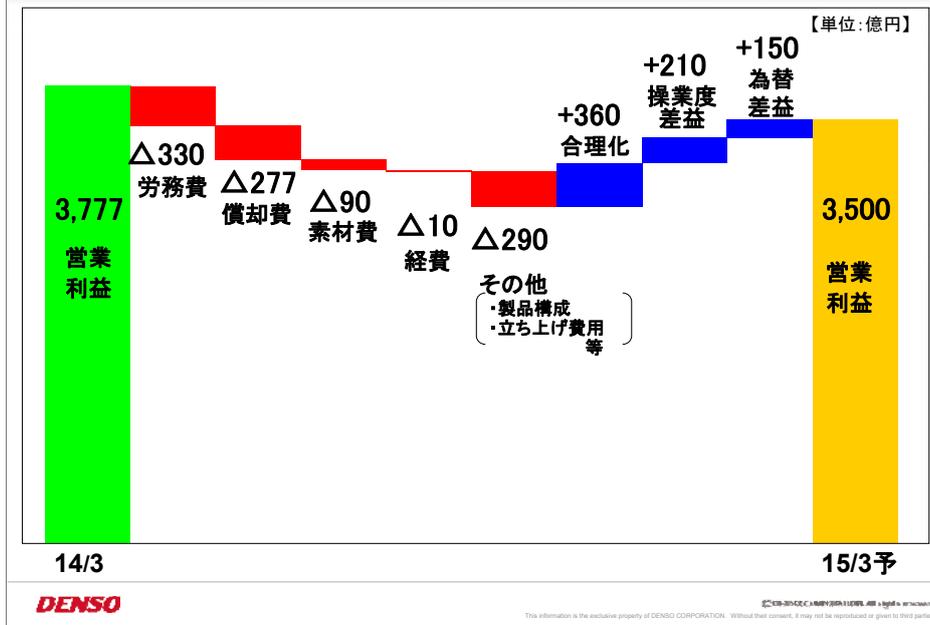
3,850億円(前年比▲346億円)に修正いたします。

当期純利益

2,480億円(前年比▲394億円)に据え置きます。

前提となる為替レートは、下期ではドル105円、ユーロ135円、
通期ではドル104円、ユーロ137円です。

日系車両生産台数は、国内は 2.0%減の 930万台、
海外は +6.4%増の 1,883万台 と想定しております。

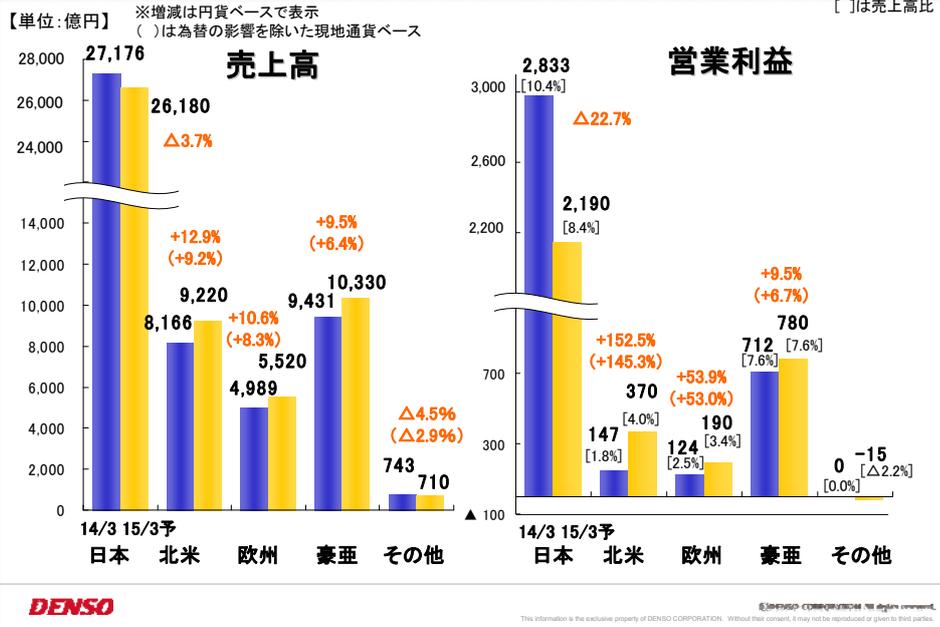


<通期予想の営業利益増減要因>

主に固定費の増加によるマイナス要因に対して、
 合理化努力、操業度差益、為替差益によるプラス要因で、
 前年比277億円減少の3,500億円の営業利益となる見込みです。

2015年3月期 通期予想 所在地別セグメント情報(前年比)

09 / 23



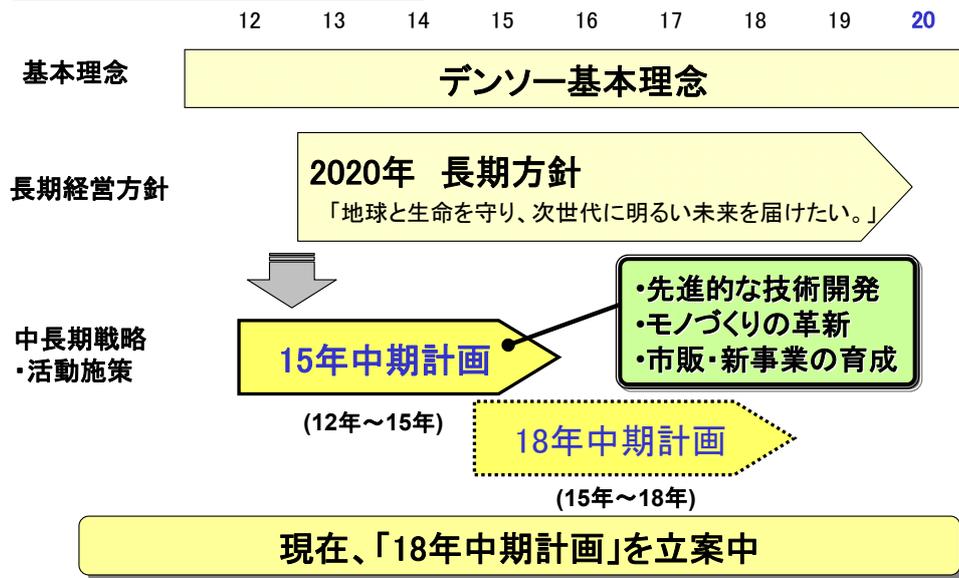
<通期予想の売上・営業利益>

現地通貨ベースでは、

日本、その他の地域では、減収減益

北米、欧州、豪亜は増収増益となる見込みです。

中期計画の位置付け



© 2015 DENSO CORPORATION. All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

2015年に向けた中期計画では、主に、
 「先進的な技術開発」
 「モノづくりの革新」
 「市販・新事業の育成」を目指し、
 取り組んできました。

最終年にあたる今年度は
 新製品・新技術のための投資を継続しながら、
 持続的な成長のための体制強化にも力を注いでおります。

次期の中期計画は、20年度までの長期方針でも掲げている、
 「環境」「安心安全」分野での成長実現のための施策を具体化し、
 年度末には皆様にもお伝えしたいと考えております。

燃費改善・CO2削減に向けたパワートレイン技術

小型化
低燃費の小型車
部品の小型軽量化

電動化
ハイブリッド・電気自動車

システム化
システム間連携による省燃費

▶内燃機関エンジンの高効率化

- ・ガソリン直噴
- ・ディーゼルコモンレール



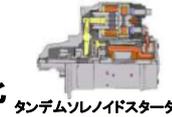
▶アイドルストップシステムの対応

- ・スタータの始動性/耐久性向上
- ・省燃費システム



▶ハイブリッド製品の小型/軽量化

- ・インバータ
- ・モータジェネレータ



▶車全体のエネルギーマネジメント

- ・熱・電カマネジメント



This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

成長を支える技術として1つ目が、
燃費改善・CO2削減に向けたパワートレイン製品です。

地球環境への負荷低減で、
自動車産業が果たす役割はますます増えており、
車両の小型化、電動化、システム化が進んでいきます。

デンソーでは内燃機関からハイブリッド・EVに至る
幅広い分野で開発を続けており、
地域ごと・顧客ごと、それぞれのニーズやトレンドに対して、
ソリューションを提供しております。

内燃機関エンジンの高効率化 - ガソリン直噴・ディーゼル

SKYACTIV-G

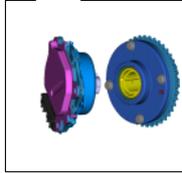
新型直噴エンジン



ガソリン直噴システム

SKYACTIV-Drive

新型トランスミッション



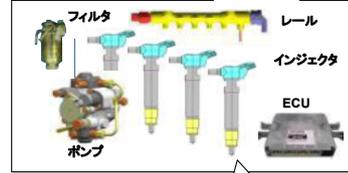
電動 VCT



AT モジュール

SKYACTIV-D

新型ディーゼルエンジン



2,000気圧 コモンレールシステム

マツダ・SKYACTIV に採用

～車両の燃費改善に大きく貢献～

「デミオ」に小型車向けの
新型インジェクタが採用され、
燃費の改善に貢献

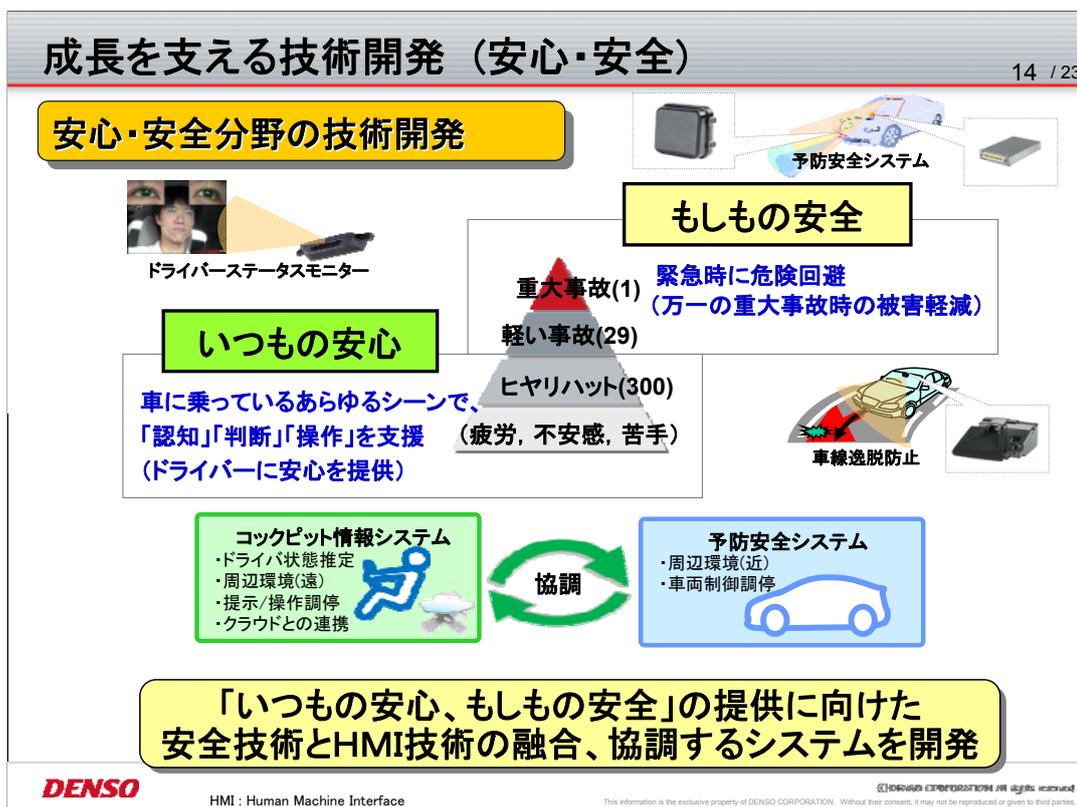
高拡散ノズル



DENSO

© DENSO CORP. All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

直近では、
今年のカー・オブ・ザ・イヤーを獲得されました
マツダの新型デミオのディーゼル車において、
小型車向けに開発しました新型インジェクタが採用され、
リッターあたり30kmという低燃費に貢献しております。



もう一つの技術開発の柱として、
 「いつもの安心・もしもの安全」をスローガンに、
 安心・安全分野に取り組んでおります。

もしもの安全では、
 ミリ波レーダなどのセンサーによる人やクルマの検知、
 ECUによる判断から各種システムの作動まで、
 一連の予防安全システムを開発・実現してきました。

また、いつもの安心では、
 デンソーの強みであるドライバーの状態を検知する技術や、
 センシング技術、HMI技術により、
 ドライバーが安心して運転できるよう、
 必要な情報を適切なタイミングで分かりやすく伝え、
 ドライバーの心に余裕をもたらすコックピットの開発を進めています。

世界の交通事故低減への貢献

■ 決定
■ 予定

		~2014	2015	2016	2017	2018	2019~
主要国の安全評価基準 (NCAP)		AEB車(追突) LDW		AEB歩行者(昼)		AEB歩行者(夜) AEB自転車(出合頭) AEB車(出合頭、右折)	
		AEB車(追突) LDW		AEB歩行者(昼) LKA			
		FCW/LDW		AEB歩行者(昼) AEB車(追突) LDP		AEB歩行者(夜)	

デンソーの取組み

ミリ波レーダ

画像センサ

FCW/AEB車(追突)

LDW/LDP 車線逸脱防止

ACC

オートハイビーム

ACC: Adaptive Cruise Control
 AEB: Autonomous Emergency Braking
 FCW: Forward Collision Warning
 LDP: Lane Departure prevention
 LDW: Lane Departure Warning
 LKA: Lane Keeping Assist
 NCAP: New Car Assessment Program

高度運転支援

AEB歩行者(夜)

AEB自転車(出合頭)

AEB車(出合頭)

高度運転支援

車線逸脱防止

車線変更

緊急回避

出合頭衝突防止

・NCAP導入に先駆けて、予防安全機能を実現
 ・18年目処に、高度運転支援システムを実用化

© DENSO CORP. All rights reserved. may not be reproduced or given to third parties.

現在、世界全体で年間で120万人以上の方が交通事故で亡くなっているという状況も踏まえ、世界主要国ではクルマに対する安全評価基準としてNCAP(ニュー・カー・アセスメント・プログラム)を導入と強化が進んでいきます。

デンソーも現在、2016年の基準導入に先駆けて、歩行者を対象とした衝突回避機能を含んだ新しい予防安全システムの量産を、2015年より開始いたします。

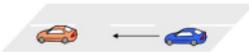
さらに、技術を進化させた高度運転支援システムの開発もおこなっており、2018年を目処に、実用化していきたいと考えております。

高度運転支援(実証実験)

①愛知県(知多半島道路)※での走行試験

車載カメラ・ミリ波レーダなどのセンサを搭載して公道走行

■単一レーン内の自動走行



■自動レーンチェンジ



※愛知県傘下のプロジェクトとして2014年6月より実施中

DENSO

②ITS世界会議2014(デトロイト)

V2V車載機を活用した、高度運転支援技術のデモ走行

■高度運転支援デモ

- 車車間の無線情報通信を活用し、
- 先行車両の位置情報を使い、
- ・安心できる適切な車間距離で自動追従走行
- ・先行車の急停車に反応して安全停車



■先進HMIデモ

- 車車間、路車間の無線情報通信により得た周辺環境情報を、
- コックピット情報システムを通じて、ドライバーに表示や音で
- 分かり易く表示

V2V : Vehicle to Vehicle

©DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

高度運転支援の開発の一部を、ご紹介いたします。

1つ目に、愛知県の公道での走行試験です。

車載カメラやミリ波レーダなどのセンサを搭載し、

追い越しを想定した自動レーンチェンジを6月よりおこなっております。

2つ目は、9月にデトロイトで開催されたITS世界会議にて、
こちらは無線によるV2V車載機を活用し、

- ・安心できる適切な車間距離での自動追従走行や、
- ・先行車の急停車に反応しての安全停車や、
- ・HMI技術により、

先行車の急停車、歩行者飛び出し、渋滞情報などを
ドライバーにヘッドアップディスプレイや警告音で
分かり易く伝えるなどのデモ走行を実施し、

カーメーカの関係者からも高い評価をいただいております。

コアテクニカルセンター(T/C)とサテライト拠点

コアT/C	日本	北米 ミシガン	欧州 ドイツ(アーヘン)	豪亜 タイ(バンコク)	中国 上海	インド デリー	南米 サンタバーバラ
サテライト 拠点	国内G会社 韓国	テネシー、 カルフォルニア	イギリス、 イタリア、チェコ スウェーデン	ベトナム、フィリピン、 オーストラリア他	華北、西安、 華南、台湾	—	—



<p>シリコンバレー [拡充]</p> <ul style="list-style-type: none"> サイバーセキュリティ ビッグデータ活用 自動運転システムの開発 新事業 (ヘルスケア・セキュリティ) 	<p>中国(上海) [移転・拡充]</p> 	<p>東京(設計開発拠点) ・車載半導体回路の設計開発を設置</p> 
--	--	---

**世界7地域で地域最適製品の設計を強化
北米・欧州は研究開発拠点の役割を強化**



Reproduced or given to third parties.

グローバルでの開発体制をご紹介します。

日本、欧州、北米の他に、アセアン、中国、インド、南米を含む7つの地域で現地顧客向けの地域最適製品の設計をおこなうとともに、日本だけでなく、北米、欧州は地域事情に適した先行開発の推進もおこなっています。

例えばシリコンバレーオフィスでは、サイバーセキュリティやビッグデータ活用、自動運転システムの研究開発等を進めています。

また、中国の上海テクニカルセンターでは、風洞設備の設置など対応領域を拡充させており、顧客による中国での現地開発や自主開発に貢献できる体制を整えています。

(事例)ダントツ工場を実現する『1/N』設備

【従来】 → 【ダントツ工場】



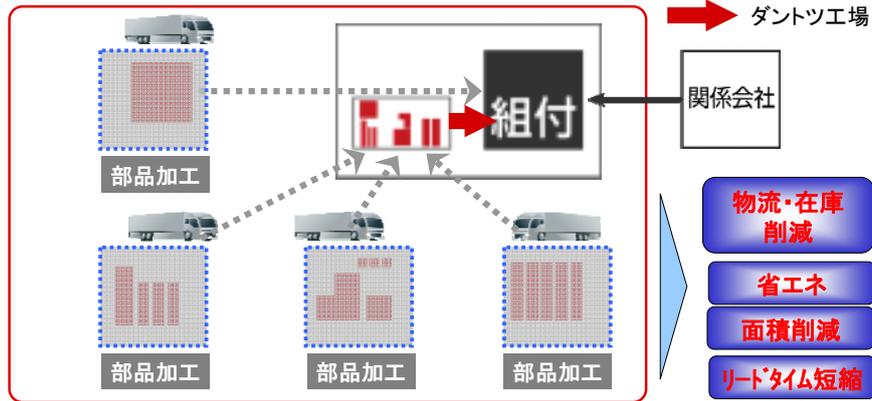
DENSO

©2015 DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

コスト競争力強化のため取り組んでいる
ダントツ工場づくりについて紹介します。

これはプラグ工場の事例ですが、
従来の設備と比べて6分の1のコンパクトな設備を開発し、
生産性の向上や、リードタイムの短縮により
コストの大幅な低減が実現できました。

ダントツ工場を実現する同期一貫生産



コンパクトな1/N加工機を導入

同期一貫生産を実現

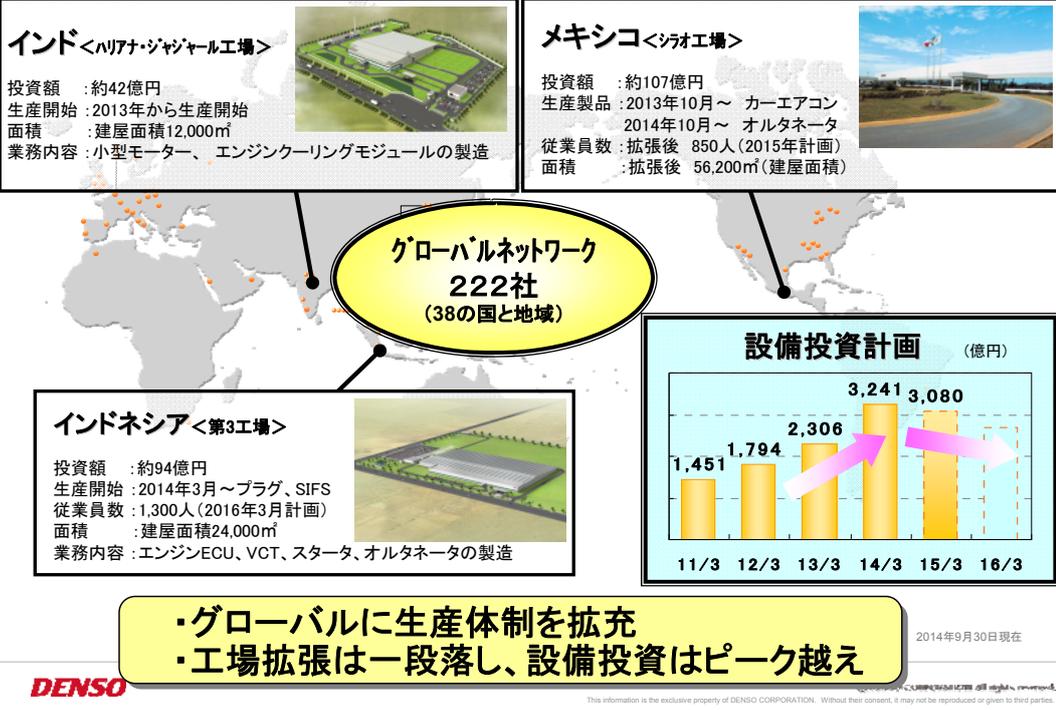
生産システムのあらゆるムダをなくす



©2015 DENSO CORPORATION. All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

また、N分の1加工機を開発・展開するだけでなく、それぞれをつないだN分の1ラインの導入に注力しています。

これにより、コンパクトなN分の1加工機をそれぞれの工場が導入することによる個々のメリットだけでなく、鍛造から、切削、組み付けまで、同期一貫での生産を実現することで、物流や中間在庫の削減、コストダウン、リードタイムの短縮を実現していきます。

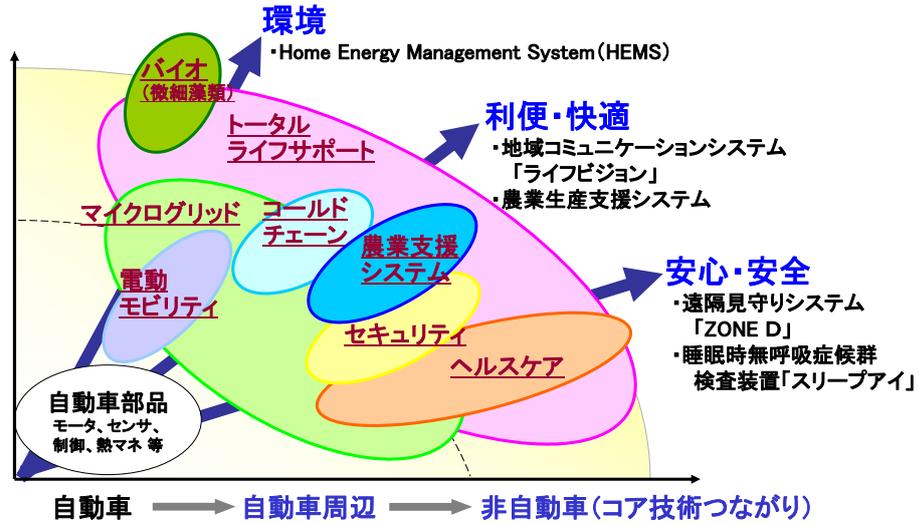


生産体制については、
 中期計画に基づく、新製品の開発や、
 海外での能力増強に応じて、
 グローバルに設備投資を増強してきました。

現在は、インド、メキシコ、インドネシアなど、
 工場の拡張は一段落し、
 生産が順調に開始されております。

設備投資の金額としましては、
 3,000億円を超える13,14年度をピークに、
 来年度以降は2,500億円から2800億円程度に
 抑制していけると考えております。

自動車部品で培ってきた技術をベースに、人々の生活に密接し、必要なサービスを・必要な時に・必要なだけ享受できる社会作りを目指す



DENSO

© DENSO CORPORATION All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given in third parties.

現在注力している

新事業分野への取り組みについては、

自動車の分野で培ってきた技術を活かし、
環境にやさしく、安心安全な社会に貢献でき、
快適さや利便性の向上に繋がる分野への取り組みをしてきました。

特に、HEMS、農業支援、セキュリティやヘルスケアの分野など
具体的に製品化できた事例が増加しております。

(事例)QRコード® の発展と展開

QRコード® ('94)
 キャンバンの高密度化として誕生
 ●高性能
 ●オープン特許
 ●優れたデザイン

デザイン性を考慮
 ロゴQ®, ロゴQモーション®, ロゴパス® ('10)
 フレームQR® ('14)
 キャンパス領域の活用により、様々なデザインQRコードの作成が可能

セキュリティ性を考慮
 SQRC® ('07)
 複製防止QRコード ('11)
 チケット・ブランド品・製品の真贋判定

日本初！
QRコードが欧州発明家賞受賞
 デンソーのグループ会社である株式会社デンソーウェーブと、株式会社豊田中央研究所の技術者で構成されたQRコード開発チームが、欧州特許庁が主催する欧州発明家賞において、一般投票によって選ばれる“Popular Prize”を日本から初めて受賞しました。

今後とも、サイバー、フィジカルの繋ぎ役としての機能、サービスの発展を通じO2Oビジネスの拡大と社会の利便、安全実現に貢献していきます

DENSO DENSO WAVE QRコード、SQRC、フレームQRは株式会社デンソーウェーブの登録商標です
 ロゴQ、ロゴQモーション、ロゴパスはA・Tコミュニケーションズ株式会社の登録商標です ©2014 DENSO CORPORATION. All rights reserved.

非自動車分野での取り組みとして、QRコードをご紹介します。

QRコードは1994年に(トヨタ生産方式で工場内で使用する)カンバンの高密度化を目的に開発しました。

その性能の高さや、オープン特許として無償公開したこともあり、
 今では世界中で使用されるに至り、
 今回、日本初の欧州発明家賞も受賞することができました。

一方で、デザイン性やセキュリティ性も追求しながら
 ビジネスとして育てていくための取り組みをしてきました。

身近な事例としましては、

- ・名刺に似顔絵を入れたロゴQ、
- ・偽造防止を施した、モバイルチケット
 などに利用いただいております。

今後とも、機能、サービスの発展を通じ、
 社会の利便、安全実現に貢献していきたいと考えております。

地球と生命^{いのち}を守り、
次世代に明るい未来を届けたい。



地球環境の維持

安心・安全

にこだわり、今後10年の私達の使命として取り組む

DENSO

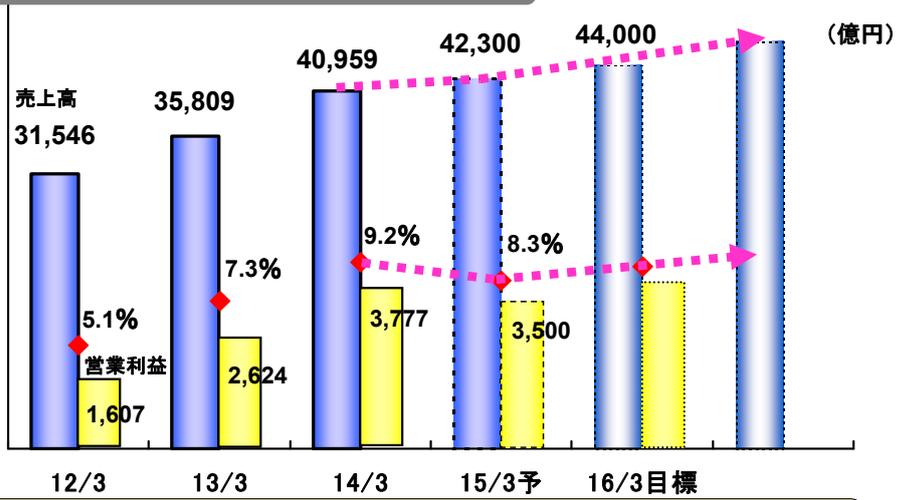
©2019 DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

デンソーは、
「デンソーグループ2020年長期方針」で掲げたとおり、
世の中に届ける価値として、
「地球環境の維持」と、「安心・安全」にこだわった、
事業活動に取り組んでいきますので、
皆様からも、引き続きご支援を宜しくお願い致します。

DENSO

- 売上、利益目標
- 株主還元
- 2015年3月期 第2四半期(3ヶ月)
所在地別セグメント情報(前年比)
- 単独決算概要
- 前提となる為替レート／車両生産台数
- 得意先別売上
- 製品別売上
- 設備投資・償却費・研究開発費

売上高・営業利益・営業利益率の推移

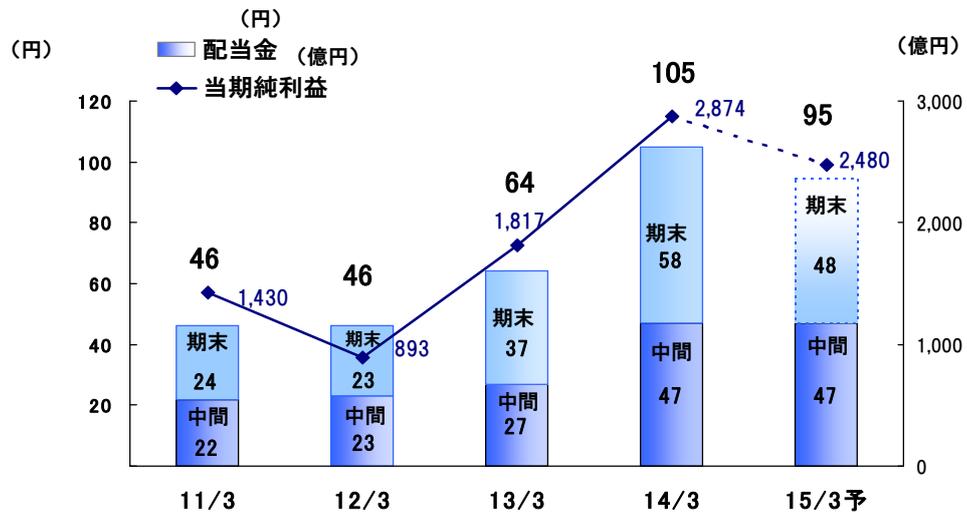


15/3期は将来の競争力強化に向けた投資コストが先行
16/3期以降の持続的な成長への着実な準備



This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

中間配当：1株につき47円、年間配当：95円



© DENSO CORPORATION. All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

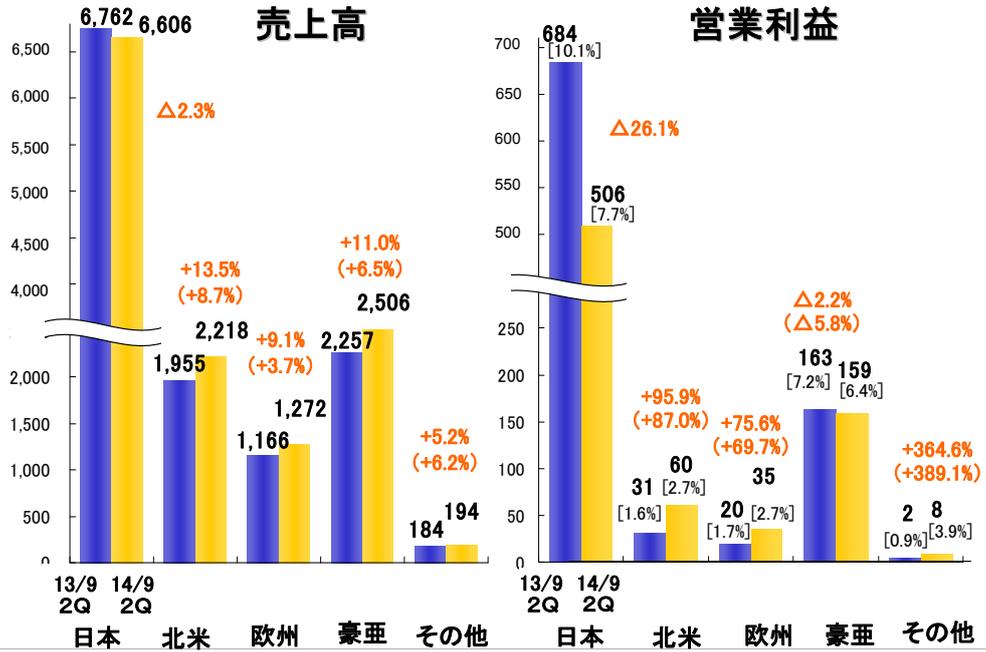
2015年3月期 第2四半期(3ヶ月) 所在地別セグメント情報(前年比)

27

【単位：億円】

※増減は円貨ベースで表示
()は為替の影響を除いた現地通貨ベース

[]は営業利益率



DENSO

©DENSO CORPORATION 2015 All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

損益計算書

()内は売上高比

【単位:億円, %】

科 目	14/9期実績		13/9期実績		前年比		15/3期予想					
					増減額	増減率	14/6時予想	最新予想		前年比		
売上高	(100.0)	11,845	(100.0)	12,212	△ 367	△3.0	(100.0)	23,230	(100.0)	23,950	△ 958	△3.8
売上原価	(86.7)	10,266	(84.6)	10,330	△ 64							
販売費及び一般管理費	(6.7)	788	(6.1)	741	△ 47							
営業利益	(6.7)	790	(9.3)	1,141	△ 351	△30.7	(6.4)	1,490	(6.9)	1,650	△ 583	△26.1
営業外収益		531		522	9			640		730	△ 30	
経常利益	(11.2)	1,321	(13.6)	1,663	△ 342	△20.6	(9.2)	2,130	(9.9)	2,380	△ 613	△20.5
特別損益		△ 94		0	△ 94			0		△94	△ 62	
税引前当期純利益	(10.4)	1,227	(13.6)	1,663	△ 436	△26.2	(9.2)	2,130	(9.5)	2,286	△ 675	△22.8
当期純利益	(8.6)	1,019	(10.7)	1,308	△ 289	△22.1	(6.8)	1,570	(7.1)	1,690	△ 507	△23.1

DENSO

©DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

前提となる為替レート／車両生産台数

		上期					下期					15/3通期				
		前年実績	当初予想	1Q時予想	当年実績	前年比	前年実績	当初予想	1Q時 予想	最新予想	前年比	前年実績	当初予想	1Q時予想	最新予想	前年比
		為替レート (円)	USD	99	100	100	103	4円 円安	102	100	100	105	3円 円安	100	100	100
	EUR	130	135	135	139	9円 円安	139	135	135	135	4円 円高	134	135	135	137	3円 円安
1円変動の 利益影響額 (億円)	USD											28	25	25	25	△ 3
	EUR											8	7	7	7	△ 1
日系車両生産 台数 (万台)	国内	453	458	458	459	+1%	496	460	460	472	△ 5%	949	918	918	930	△ 2%
	北米	266	302	302	299	+13%	277	320	320	313	+13%	543	622	622	612	+13%
	海外日系車	869	963	963	913	+5%	900	1,035	1,035	970	+8%	1,770	1,998	1,998	1,883	+6%



©DENSO CORPORATION 2014 All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

得意先別売上

30

【単位:億円, %】

区分	14/9期実績		13/9期実績		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
トヨタ	8,985	43.4	9,025	45.4	△ 40	△ 0.4
ダイハツ	515	2.5	563	2.8	△ 48	△ 8.5
日野自動車	271	1.3	260	1.3	11	4.2
トヨタグループ計	9,771	47.2	9,849	49.5	△ 77	△ 0.8
本田技研	1,445	7.0	1,365	6.9	80	5.8
現代・起亜	660	3.2	547	2.7	114	20.8
G M	609	2.9	586	3.0	23	3.9
クライスラー	530	2.5	409	2.1	122	29.8
スズキ	519	2.5	477	2.4	42	8.8
マツダ	495	2.4	390	2.0	105	27.1
フォード	471	2.3	470	2.4	1	0.2
フィアット	459	2.2	424	2.1	35	8.3
V W ・ A U D I	410	2.0	367	1.8	43	11.6
富士重工	344	1.6	349	1.8	△ 6	△ 1.6
いすゞ	248	1.2	285	1.4	△ 37	△ 13.0
日産自動車	248	1.2	243	1.2	6	2.3
三菱自動車	241	1.2	230	1.2	11	4.6
B M W	202	1.0	163	0.8	39	24.2
ベンツ	172	0.8	165	0.8	6	3.9
P S A	101	0.5	105	0.5	△ 4	△ 3.4
ジャガー・ランドローバー	95	0.5	80	0.4	16	19.8
その他メーカー	1,359	6.5	1,205	6.1	154	12.8
O E M 計	18,379	88.7	17,707	89.1	672	3.8
※ 市販・新事業他	2,331	11.3	2,172	10.9	159	7.3
合計	20,710	100.0	19,879	100.0	831	4.2

※ OES(メーカー補給含む)、一般市販、新事業、設備売上等を含む

DENSO

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

【単位：億円，%】

区分	14/9期実績		13/9期実績		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
ハワトレイン機器	7,309	35.3	6,927	34.8	383	5.5
熱	6,508	31.4	6,068	30.5	440	7.3
情報安全	2,938	14.2	3,077	15.5	△139	△4.5
電子機器	1,862	9.0	1,849	9.3	12	0.6
モータ	1,482	7.2	1,389	7.0	93	6.7
その他※	287	1.4	293	1.5	△6	△2.0
自動車分野計	20,387	98.5	19,603	98.6	784	4.0
産業機器・生活関連機器	234	1.1	208	1.1	25	12.0
その他	90	0.4	67	0.3	22	32.6
新事業分野計	323	1.5	276	1.4	48	17.4
合計	20,710	100.0	19,879	100.0	831	4.2

※ 設備売上、補修品、子会社オリジナルブランド製品等

【単位：億円】

		14/3期		15/3期		14/9期	
		13/9期	実績	14/9期	予想	増減率	進捗率
設備投資	日本	684	1,560	889	1,640	30.0%	54.2%
	北米	211	433	204	380	△3.3%	53.7%
	欧州	112	279	129	225	15.2%	57.3%
	豪亜	443	886	442	790	△0.2%	55.9%
	その他	53	83	17	45	△67.9%	37.8%
	合計	1,503	3,241	1,681	3,080	11.8%	54.6%
償却費	日本	587	1,309	630	1,440	7.3%	43.8%
	北米	90	188	104	230	15.6%	45.2%
	欧州	68	143	77	170	13.2%	45.3%
	豪亜	139	302	196	370	41.0%	53.0%
	その他	15	30	18	40	20.0%	45.0%
	合計	899	1,972	1,025	2,250	14.0%	45.6%
研究開発費 (売上高比)	1,812 (9.1%)	3,687 (9.0%)	1,938 (9.4%)	3,900 (9.2%)	7.0%	49.7%	